



高山記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和5年8月23日（水） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農政課スマート農業推進室	スマート農業推進係	上野・石田	内線 4024 直通 058-272-1562 FAX 058-278-2680
飛騨農林事務所	農業普及課地域支援第二係	田口（和）	内線 261 代表 0577-33-1111 FAX 0577-36-1246

スマート農業技術を活用した環境保全型精密農業の実演会を開催します

国の「みどりの食料システム戦略」が策定されるなど、農業における環境にやさしい取り組みが重要となる中、県では関係機関とコンソーシアムを構築し、国の「スマート農業実証プロジェクト^{*1}」を活用した「環境保全型精密農業^{*2}」の実証に取り組んでいます。

このたび、本実証で用いるスマート農業機器の効果を県内の農業者等に広く情報発信し、技術を普及するため、下記のとおり実演会を開催します。

記

- 日時** 令和5年8月25日（金） 10:00～11:30
※雨天中止
- 場所** (有)エイドスタッフ作業場及びほ場（飛騨市古川町是重1084-1）
- 主催者** 大区画化ほ場環境保全型精密農業実証コンソーシアム^{*3}
- 参加者** 60名（農業者、関係団体、行政機関等。募集は終了しています。）
- 内容**
 - 県営経営体育成基盤整備事業の概要説明
 - スマート農業実証プロジェクトの概要説明
 - スマート農業機器の実演
 - ロボットトラクタとレーザーレベラによる整地作業
 - センシングドローンによる生育状況解析結果と散布用ドローンによるピンポイント施肥
- その他** (有)エイドスタッフ作業場には駐車できませんので、車は県中山間農業研究所（飛騨市古川町是重2丁目6-56）に駐車してください。
取材を希望される場合は、農政課スマート農業推進室または飛騨農林事務所担当者までご連絡願います。

※1 スマート農業実証プロジェクト

令和元年度から始まった農林水産省の事業であり、スマート農業技術を実際に生産現場に導入し、技術実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果を明らかにすることを目的として実施。

令和元年度から令和5年度まで、全国217地区において実証を行っている。

※2 環境保全型精密農業

大区画化整備後のほ場における水稻・大豆作において、気象観測装置やセンシングドローンなどのスマート農業機器を活用し地元から供給される豚ふんペレットを効果的、効率的に利用することで、作業の省力化と環境負荷低減の両立を目指すもの。

※3 大区画化ほ場環境保全型精密農業実証コンソーシアム

【構成員】

(有) エイドスタッフ、飛騨市、高山市、白川村、飛騨農業協同組合、

(有) 吉野ジーピーファーム、(株) ドローンコンシェルジュ、KDDI (株)、

(株) ビジョンテック、(株) 東海近畿クボタ、(一社) 岐阜県農業会議、県

参考：実演会で使用する農業機器

○ロボットトラクタ

あらかじめ作成したほ場マップを基に耕起などの農作業をほ場形状に合わせた最も効果的な作業ルートを自動生成することで、重複など無駄が少なく、初心者でも効率的な作業ができる。

○レーザーレベラ

自動制御により、高低差±2.5cmの精度で水平均平を行うことで、作物の生育の均一化を図ることができる。

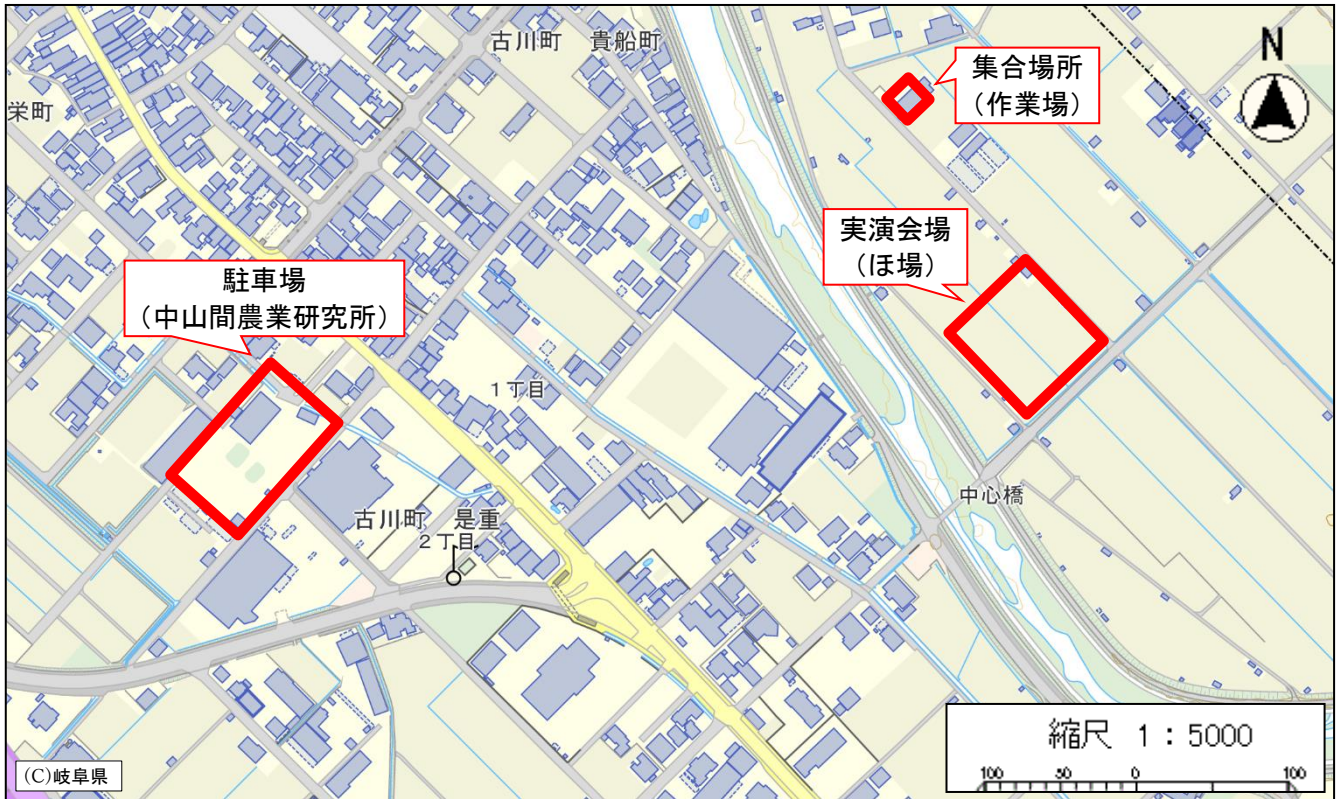
○センシングドローン

青、緑、赤など、特定の光を撮影するカメラを搭載したドローン。上空から生育中の作物の画像を撮影し、解析することで生育診断を行うことができる。

○散布用ドローン

農薬や肥料を散布するドローン。センシングドローンで収集した解析データに基づき、生育不良個所にピンポイントで施肥することができる。

実演会場位置図



集合場所（エイドスタッフ作業場）及び実演会場（ほ場）には駐車スペースがありませんので、中山間農業研究所に駐車してください。